

プロジェクト名：北海道古宇郡泊村地先における鉄鋼スラグ施肥材による海藻藻場造成（日本製鉄株式会社、古宇郡漁業協同組合）

◆プロジェクト概要

・日本製鉄と古宇郡漁組は共同で日本製鉄社製の鉄鋼スラグ施肥材（ビバリ®エット）を2018年から北海道古宇郡泊村白別の7地点に合計17t埋設し、更に2022年に照岸の岸側の消波ブロック付近に30t沈設して、藻場造成に取り組めました。

・潜水調査および画像解析を行った結果、取組当初から比較して、海藻藻場（主にホソメコンブ）は、2023年には白別で1.3ha、照岸で1.5ha造成され、2地点の合計CO₂吸収量は8.5t-CO₂と認証されました。

◆プロジェクトの特徴・PRポイント

・日本製鉄と古宇郡漁組は協働体制を構築し、藻場の維持・管理、藻場調査を実施してきました。

・今後もウニ、ナマコ、アワビをはじめとした水産生物の漁獲高の向上、鯨などの産卵場所の確保、ブルーカーボンの活性化に向け藻場造成を継続していきます。

・また、本活動の認知向上により、全国で藻場造成事例を増やしていきます。

炭酸化製鋼スラグ
(鉄源)

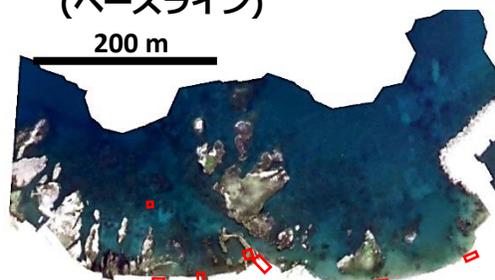


腐植物質
(腐植酸)



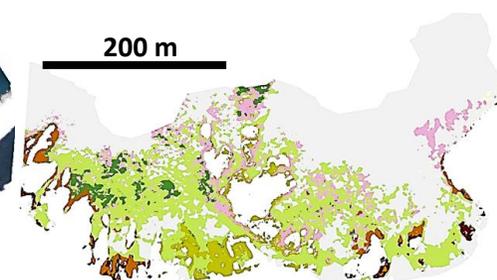
図：鉄鋼スラグ施肥材

2013年7月衛星画像
(ベースライン)

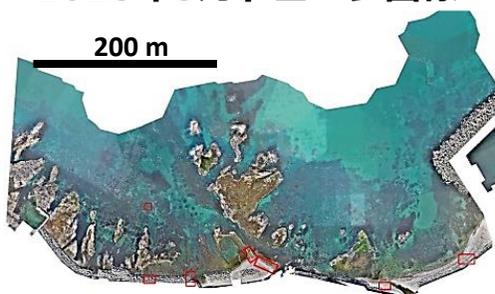


ビバリ®エット施工地点(7地点)

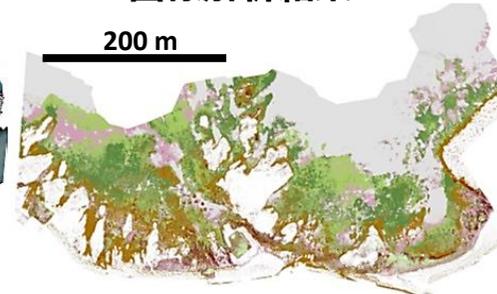
画像解析結果



2023年5月ドローン画像



画像解析結果



凡例； ■ コンブ、■ コンブ・他、■ ワカメ・紅藻・他1、
■ ワカメ・紅藻・他2、■ 紅藻・褐藻、■ 緑藻・他、□ 岸、■ 砂・転石

図：白別における藻場面積の解析結果（色付きの範囲が10年間で拡大している様子が分かります）